

東京大学アタカマ展望台（TAO）望遠鏡サイトの完成記念式典

令和6年（2024年）5月6日

1 東京大学アタカマ展望台の完成記念式典

4月30日、サンティアゴ市内のホテルにおいて、東京大学アタカマ展望台（TAO、The University of Tokyo Atacama Observatory）望遠鏡サイトの完成記念式典が開催され、伊藤恭子大使のほか、エチェベリ科学技術大臣、フレイ元大統領、今枝文部科学副大臣、塩谷日智友好議員連盟会長、東京大学幹部など多数の要人が出席しました。



©東京大学 TAO プロジェクト提供

東京大学から、TAO プロジェクトの完成とその行程、今後の展望が報告され、日本およびチリの多数の官民機関からの支援に対し謝意が表明されました。

また、エチェベリ科学技術知識イノベーション大臣から TAO 望遠鏡による観測成果への期待が述べられたほか、チリ外務省からは同プロジェクトおよび科学技術分野における取り組みへの支援が表明されました。



エチェベリ科学技術大臣



式典の様子



藤井東京大学総長によるあいさつ



今枝文科副大臣の祝辞

伊藤大使は、26年もの長い歳月を経てTAOの完成に至った関係者の尽力と不屈の精神に敬意を表し、これを機に日本とチリの天文学および科学技術分野における協力と連携がより一層発展することを期待する旨述べました。



伊藤大使の祝辞



祝意と期待が記されたメッセージ・ボード

また、式典に続き開催されたレセプションでは、鏡開きが行われ、同プロジェクトの成功が祈念されました。



塩谷友好議連会長の祝辞



鏡開き

2 バン・クラベレン外相 表敬

同式典に先立つ4月29日、伊藤大使は、塩谷友好議連会長、五神理研理事長、土居国立天文台長と共にバン・クラベレン外相を表敬しました。

バン・クラベレン外相から TAO サイトの完成に祝意が表明され、今後も科学技術・学術を含む幅広い分野において日チリの協力と連携を促進し、両国の友好関係強化に共に努めていくことを確認しました。



3 エチェベリ科学技術大臣への表敬

4月30日、伊藤大使は、塩谷友好議連会長、五神理研理事長、土居国立天文台長および東京大学学部長5名と共に、エチェベリ科学技術知識イノベーション大臣を表敬しました。

日本側一行は TAO 完成に加え、今後のプロジェクトの展望や TAO での観測がもたらすことが期待される成果等を報告し、エチェベリ大臣からは同完成への祝意と科学技術への貢献に謝意が述べられました。また、東京大学とチリ大学の間で開始され、現在は両国の多岐の分野に及ぶ研究機関からの研究者によって開催されている日チリ学術会議を通じた交流の活用についても確認しました。



4 アタカマ展望台（TAO）視察

5月3日、伊藤大使は、東京大学および国立天文台関係者等と共に、アントファガスタ州サン・ペドロ・デ・アタカマ市のチャナントール山頂（標高 5,640 メートル）に建設された、東京大学アタカマ展望台（TAO）望遠鏡サイトを視察しました。

同展望台は「世界一標高の高い地点にある天体望遠鏡」としてギネスブックに認定されており、口径 6.5 メートルの大型赤外線望遠鏡を運用し、銀河・惑星系の起源の謎などの解明に向けての観測を行う予定です（2024 年後半または 2025 年に観測開始予定）。至近に位置し日本も参加する ALMA 観測所とともに、天文学上の重要な発見など多くの成果が期待されています。



なお、5,640 メートルのチャナントール山頂には、展望台建設中に掘り出された岩に日本から運ばれた御影石をはめ込み、日チリ（アタカマ）の友情「TATAI（アタカマ地方の先住民の言葉で「友情」を意味する）」を記念するプレートが掲げられており、TAO プロジェクトの成功を見守っています。



友好記念碑



ギネスブックに認定された
5,640 メートルの高地からの風景